

話題 秋の風物詩 秋祭り開催

町内各地の神社にて、無病息災、五穀豊穡を願う秋祭りが行われました。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、規模を縮小して行われた秋祭りは、三面獅子奉納、神輿御渡が町を練り歩きました。（幸神社は神事のみ）



▲顯國神社で同時開催された甲冑展示



▲國津神社の三面獅子奉納



▲顯國神社の御渡

話題 地元の産業を学ぶ 水産教室を開催

有田箕島漁協、湯浅湾漁協の青年部の代表者で構成される有田地区漁業青年協議会の主催で、10月12日㊦田村小学校の5年生が授業の一環として地元産業（水産）について学びました。その後、「チリメンモンスターを探せ」というゲーム遊び感覚で、トレーいっばいに詰まったちりめんじゃこの中から、児童たちは色々な種類の魚を見つけ出しました。

有田地区漁業青年協議会は今回の水産教室のほか、ヒラメの放流体験など地域の漁業関係者を招いた交流活動なども行っています。



話題 ワイオー・ラボ株式会社 ふるさと企業大賞（総務大臣賞）※を受賞



11月14日㊦、ワイオー・ラボ株式会社に対して、ふるさと企業大賞の表彰状伝達式を行いました。山田地区にあるワイオー・ラボ株式会社は、老朽化した上下水道管の配管を交換することなく、安全に補修・補強できる管更生技術を開発し、全国の多様なニーズに対応しています。湯浅町として初の受賞であり、和歌山県としても平成20年以来14年ぶりの受賞となりました。

※地域振興に資する民間投資を支援するために、市町村が長期の無利子資金を融資する制度であるふるさと融資を活用した民間事業者の中から、地域経済及び雇用・地域のイメージアップに特に貢献していると認められる事業者を表彰するもの。

話題 湯浅町の風景が年賀はがきになりました

11月8日㊦、2023(令和5)年年賀はがき地方版(和歌山県版)の贈呈式を行いました。

この年賀はがきは、地域の風物などが描かれた全27種類が製作され、和歌山県では、「湯浅町 醸造の香り漂う町」と題し、醤油蔵やみかんのイラストが描かれています。

20万8千枚が発行され、和歌山県内の郵便局、郵便局のネットショップで販売されます。1枚につき5円の寄付金が日本郵便株式会社により、社会福祉の増進や青少年の健全育成、地球環境保全などの事業に役立てられます。



▲贈呈式の様子

話題 韓国より郡議員・職員がふるさと納税制度を視察



▲みかん農家を視察

10月20日㊦、韓国慶光郡より、韓国で2023年より施行される「故郷愛寄付制度」（日本のふるさと納税と同様の制度）を住民に定着させるため、国内トップクラスのふるさと納税寄附額を誇る湯浅町を視察に訪れました。

町内みかん農家の視察、伝建地区の見学を行い、郡議員からは日本のふるさと納税制度に関すること、寄附を受けた自治体がどのように変わったか等の質問が寄せられました。

話題 図書館講演会を開催



▲梨屋 アリエ氏

10月29日㊦、湯浅えき蔵3階地域交流センターにて、図書館講演会を開催しました。

児童文学作家・YA作家の梨屋 アリエ氏をお迎えし、「本のトビラは未来への扉」と題して、作品ができるまでのお話や、本にまつわる様々なお話をいただきました。